

女優 岸恵子（81歳）はなぜ若い？

2013年8月28日
NHK総合TV

女優の岸恵子さん、81歳だそうです！ 驚きですね！
異口同音に「どうして、そんなに若いの?!」

勿論、本人も驚いていますが、「皆さん、どうしてそんなに老け込むの?」と言っていました。

若さの原因は…人一倍の「苦勞」だそうです！

男性も女性も終わりになき恋をしなくては…

彼女は、「幸せ」とは、よくわからないそうです。
安穩で安泰な生活が老けこませるそうです。
落ち込むことも多々あるそうですが、目の前の問題を何とかすることが、
生き生きさせているのではないかと、言っていました。



岸恵子は1932年生まれの81歳、19歳で映画デビュー。

歴史に残る大メロドラマ「君の名は」で国民的ヒロインになった。そのご、松竹の看板女優として絶大の人気を博すようになったのが1953年21歳の時で、その後鶴田浩二と浮名を流した。

1957年 25歳でフランス人の監督イブシャンピと結婚、1975年 1児をもうけて離婚。その人生はドラマティックです。

その後も、日本とフランスを行き来して、女優業だけではなく、文筆家としても才能を発揮し活躍している。

若い頃は作家志望。イブシャンピとのフランスでの結婚式は尊敬する川端康成が仲をとりもった。

国連人口基金の親善大使としても活躍。

現在は、日本の横浜に住み、横浜をベースに活躍している。一人娘は、オーストラリア人と結婚。

岸 恵子作「わりなき恋」のあらすじは、岸さんご自身の半生を下敷きにして書かれているであろう事は、簡単に推測できてしまう。

わりなき恋 岸 恵子 (2013/3/23)

70歳を目前にした日本とパリを拠点にする女性ドキュメンタリー作家と、12歳下の大企業重役(59歳)との5年を超える不倫愛が題材になっている。タイトルは、古今和歌集で詠まれた一節にもあるように「理屈や分別を超えて、どうしようもない恋」を意味する。

ヒロインは、フランス人の夫と死別して40年間近く孤閨を守り(時にはアバンチュールもあったようですが)、その間に一人娘を育て、自分は日本とヨーロッパをまたにかけて国際的に名をはせる仕事をこなしている、という設定。

そのヒロインが、成田発パリ行きの飛行機のファーストクラスで10歳以上年下の男性と出会い、恋に落ちるといのです。また、この男性の経歴が凄い。

とにかく日本でも有数の電器機器の会社の専務ってことになっています。

主人公と恋仲になるビジネスマンのモデルは、元トヨタ取締役・元デンソー副社長の岩月伸郎氏(慶応義塾出身のプレーボーイ)といわれる。

岸恵子の自宅近くで、小説でその59歳と言われている男性と本当によくお散歩しているそうです。



早くに夫を亡くした女性は、海外を飛び回る男性と遠距離恋愛を続けていくうちに深い関係になっていく。ただし、十数年ぶりの性交は潤いが足りず、思うようにいかない。意を決して婦人科で治療を受ける場面なども描かれる。70代女性ならではのエピソードだが、男性にかかってくる電話やメールの内容、ささいな一言に、恋心は少女のように揺れ動いていく。

住んでいる家(フランスの家と横浜の家)や庭の描写や、乗っている車や、お手伝いさんが当たり前のようにいたり、相手は箱根に別荘を建てているところだったり、二人が出会う場所がプラハだったりパリだったり上海だったり……本当の資産家の方は、こういうお金の使い方をされるのねえ……と、このように裕福な老人の恋の顛末が描かれています。

読みすすめていけばいくほど、このヒロインは岸さん?と思わずにはいられない。

そう思うと、この小説は、半端なく、ものすごっく、赤裸々というか、生々しい。